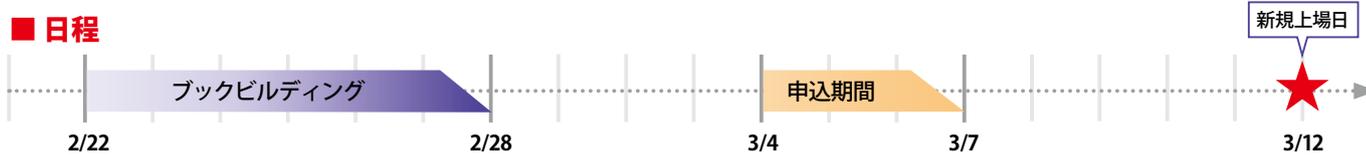


## IPO銘柄 ソフトマックス (3671・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3671	100株	公募: 30.0万株 売出: 20.0万株 (OA7.5万株)	1,100円~1,300円 (10.0倍)	野村証券



### 電子カルテシステムなど総合医療情報システムを開発、販売

#### ■ 事業内容

中小規模病院をターゲットに電子カルテシステムなど総合医療情報システムの開発、販売、保守サポートを手掛ける。自社開発した総合医療情報システムを「HONEST」のブランドで展開。電子カルテシステムの「カルテV3」ほか、薬の重複投与防止や医療費の請求ミスの防止、レセプト電算化に対応したオーダーリングシステム「オーダV3」、健康診断システム「健診」やりハビリ部門システム「リハ」などの部門支援システム、医事会計システムの「医事V9」などがある。12年末時点で12カ所の営業所を保有。システム事業の単一業態だが、12年12月期3Q累計の販売種類別では、システムソフトウェアが57.5%、ハードウェアは20.6%、保守サービス等は21.9%となっている。

#### ■ 特徴

「HONEST」は従来のクライアントサーバ型と違い、専用端末などを必要としないウェブ型で、納期や初期導入コスト、ランニングコストなどで優位性がある。電子カルテシステムはウェブ型であるため施設間を障壁なく運用できるほか、ウェブパーツを使ったカスタマイズも容易。診療情報や投薬情報などのデータを統合した一元管理を可能とする。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

13年12月期の非連結経常利益は前期比37.9%増の4億円を予想。病院のIT化は政府主導で推進されており、医療情報システムへの需要は根強い。また、東日本大震災におけるカルテの紛失などを受け、データの電子化やデータバックアップの必要性への意識も高まっている。

#### ■ 定性分析

IPOマーケットは数年来の好況に沸いており、上場するすべての銘柄に大量の買い注文が入る状況にある。同社についても堅実な成長が見込まれる企業であり、上場に向けて投資家の関心は非常に高い状況にある。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約7.5億円。株主にベンチャーキャピタルがおらず、公開株式以外の株券が市場に流出しづらい構造であることもプラス。仮条件が目論見書記載の想定発行価格(1,050円)を上回る水準に設定されたこともあり、需給状況は良好とみる。(小泉健太)

#### ■ 類似企業

ソフトマックス(3671・マザーズ)	予想PER10.0倍 (仮条件上限)
ソフトウェア・サービス (3733・JASDAQ)	予想PER10.5倍
シーエスアイ (4320・マザーズ)	予想PER11.4倍

#### ■ 引受証券

野村証券、みずほ証券、東海東京証券、SBI証券、日本アジア証券、岩井コスモ証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年12月期(実績)	2,957	15.1	130	67.4	54	12.1	40.0	7.0
12年12月期(実績)	3,761	27.2	290	2.2倍	157	2.9倍	97.8	10.0
13年12月期(会社予想)	4,100	9.0	400	37.9	241	53.2	129.7	40.0

※ 12年11月10日に株式分割(1株→10株)を実施。11年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
10年12月期	136,150	3,584	738	136	542.6	20.6	6.8
11年12月期	161,150	4,100	915	200	568.1	22.3	6.6

※ 10年12月期および11年12月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	野村 俊郎	1,118,000	69.38
2	医療法人 青雲会	100,000	6.21
3	鹿児島銀行	80,000	4.96
4	中園 政秀	30,000	1.86
4	井ノ口 義信	30,000	1.86
6	永里 義夫	28,000	1.74
7	溝口 幸正	20,000	1.24
7	医療法人 クオラ	20,000	1.24
7	アイディール エージェンシー	20,000	1.24
7	ソフトマックス従業員持株会	20,000	1.24

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役会長	野村 俊郎
代表取締役社長	永里 義夫
取締役副社長	井ノ口 義信
取締役副社長	若松 康男
常務取締役	大山 初雄
常務取締役	南 秀行
常務取締役	溝口 幸正
監査役(常勤)	稲村 修一
監査役(非常勤)	福永 大悟
監査役(非常勤)	高瀬 学

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局（金商）第 44 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会